

令和6年度 御殿場小学校 グランドデザイン

校訓

富士に立つ子

富→豊かさ・心豊かな人、たくさんのを身につけている人
 士→守徳を修めた立派な人、確かな学力を身につけ、品格を備えた人
 自信を持った言動ができる人 揺るがない精神をもった人

「御小ブランド（自分の学校という誇り）」を支える4本柱

1 御殿場小学校の使命

御小を通して人を幸せにする

2 目指す学校

フルーツポンチのような学校

3 学校教育目標

自ら考え 高め合う 御小の子

確かな知性 **学ぶ**
 (個で学ぶ、共に学ぶ)

- ・自ら考える子
- ・主体的に学ぶ子
- ・かかわり合って学ぶ子
- ・しっかり聴ける子
- ・思いや考えを伝える子

授業が分かる子95%以上

豊かな感性 **みがく**
 (思いやり、自主性)

- ・思いやりのある子
- ・自分や友達の良さを見つけ、大切にできる子
- ・主体的に考え、行動する子
- ・時と場に応じた言動ができる子
- ・他者と協働できる子

思いやりの心で接する子90%以上

健やかな心身きたえる
 (元気に過ごす)

- ・自分なりの挨拶をする子
- ・生活のリズムを整える子
- ・進んで体を動かす子
- ・健康に気を付ける子
- ・安全に気を付ける子

生活のリズムに気を付ける子90%以上

4 重点目標
 (合言葉)

大切にしよう 自分も 相手も

学校が楽しいと答える子95%以上

学校経営
 目標

「誰一人取り残さない教育」が推進される学校

- ① 全ての子供たちの可能性を引き出す学びが実践される学校
- ② 安心できる居心地のよい学級・学年・学校
- ③ 教師自らが主体的に考え、行動する学校

話したり相談できたりする先生がいると
 答える子90%以上

授業に主体的に取り組んでいると
 答える子85%以上

教科指導

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ・特別支援教育の推進
- ・道徳の授業の充実
- ・ICT、AIの効果的な活用
- ・地域人材、素材の積極的な活用

教科外指導

- ・どこかに居場所のある学校
- ・人権教育の推進
- ・多様な人との協働の充実
- ・個に応じた支援の充実
- ・目的を明確化した行事の充実
- ・情報モラル教育の推進

学校運営

- ・心理的安全性の高いチーム御小
- ・保護者や専門スタッフ、地域との連携
- ・「報連相報」の徹底
- ・働き方、働きがい改革の推進
- ・学年と特別支援を縦軸、4部会を横軸に
- ・不祥事ゼロ、OJTやYGPの推進

◆検証・評価と改善

- ◆県・市教育委員会指定を受けた研究・実践
- ◆御殿場中学校区幼小中一貫教育の充実

【PDCAサイクル】カリキュラムマネジメント（半年または1年サイクル）→学校教育目標の共有、教育課程の作成→教育活動→学校評価：児童、保護者、教職員、学校関係者→後期・次年度への反映

+

【OODAループ】PDCAサイクルの「D o」を「OODAループ」で回す→授業、生徒指導、学級・学年経営等想定外への対応：Observe（観察）⇒Orient（状況判断）⇒Decide（意思決定）⇒Act（実行）

◆迅速で的確な危機管理

- ・不登校対策
- ・いじめ対策
- ・防災対策
- ・避難、防犯訓練
- ・安全点検
- ・交通安全指導
- ・感染症対策